



ぶんと通信

第50号

2007年2月15日発行
財伊賀市文化都市協会

『春を呼ぶ島ヶ原』

正月堂・修正会

のどかな田園風景を見ながら坂道を上ると創業百年のお醤油さんの隣に「正月堂」がありました。こちらは創建一二五六年、天平勝宝三年奈良東大寺の実忠和尚により開創された由緒ある古寺「普門山・観菩提寺」です。

このお寺の本堂で毎年執り行われ、昔から伊賀路に春を呼ぶ行事として親しまれてきた修正会(しゅししょうえ)は、奈良東大寺二月堂のお水取り(修二会・しゆにえ)に先駆けて行われる事で知られています。

修正会は毎年旧正月の九日、十日(現在の二月十一日、十二日)に行われ、もともと東大寺莊園だったこの地の開拓恩恵への感謝等が込められております。二十キロ餅の五段重ねや野菜でつくられた鬼頭等の珍奇な供物、午後一時から行われる真言密教の儀式等は県指定無形文化財となっており、五体投地礼拝や、雄大な「ダツタン」の行法等は私達が知っている仏教の儀式からは想像できないものです。

他にも三十三年毎に開帳する秘仏・本尊十一面観世音菩薩像、室町初期に改築された本堂、楼門は国の指定重要文化財となっており、文化財の多い伊賀地区の中でもかなり見ごたえがあると思います。

千二百五十年前から続く行事を支え続けてきた地域の人々は、毎年行われるこの時期に大変な責任を果たされるものと想像しますが、この行事が続く限り品格ある伊賀の美しい正月も在り続けることが出来るのでしょうか。是非一度訪れてください。

(広報事業委員 森 正美)

BUNTO チケット情報

上方落語の会
桂ざこば 南光 小米朝 三人会

2/25(日) 好評発売中

開場 13:30 開演 14:00
前売 一般 2,500円
高校生以下 1,500円
(当日各500円増)
(全席指定)
伊賀市文化会館

第11回ピアノデュオ・コンサート
～佐藤裕子と共に～

2/25(日) 好評発売中

開場 13:30 開演 14:00
1,000円(全席自由)
青山ホール

第7回 能楽鑑賞会



3/3(土)

開場 13:00
開演 13:30

一般 1,000円
高校生以下 500円
(全席自由)

ふるさと会館いが

伊賀コミュニティオーケストラ さんさんコンサート 2007



3/25(日)

開場 13:30
開演 14:00

500円
(全席自由) 好評発売中

あやま文化センター
さんさんホール

青山ホールこども劇団 「うてかえりこんぼ」 第2回定期公演 「小さな星の物語」

3/11(日) 好評発売中

開場 13:30
開演 14:00

一般 700円
高校生以下 500円
(全席自由)
青山ホール

よしもとお笑いライブ (笑い飯・アジアンほか)



4/15(日)

開場 13:30
開演 14:00

2000円
(全席指定) 3/17全席完売

伊賀市文化会館

第27回新人演奏会 in いが

4/22(日)

開場 13:00
開演 13:30

1,000円
(全席自由) 3/17全席完売

伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館 TEL.0595(24)7015
青山ホール TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが TEL.0595(45)9125
あやま文化センター TEL.0595(43)1125

楽屋のワキマ

音楽座ミュージカル/Rカンパニー

1月18日(木)伊賀市文化会館におきまして、音楽座ミュージカル『リトルプリンス』が上演されました。出演者の中から、伊賀市出身の西岡由布子さんと、王子役の野田久美子さんに終演直後お話を伺いました。

Q: 『リトルプリンス』そのものの野田さん、このミュージカルで伝えたかったものはなにですか?

野田: 「かんじんなものは目には見えないんだよ」という有名な言葉があるのですが、どういう時にそう思うかは人によって違うと思います。だから、いろんな形でとらえて、その日の自分の最高の形で自然に伝えたい。例えば、喉の痛い日でも王子も風邪をひくことはあるのだというように考えて——。

西岡: 日常生活では、自分が人と関わって生きていることを忘れがちなのですが、王子や飛行士が、人と出会い話すことで関わりを深めていくように、自身もそうありたいと思っています。



Q: 西岡由布子さんは、故郷伊賀では初めての公演ですが?

西岡: ふだん舞台の上では、演じてる場所とか観客を気にすることは全くありませんので、今回も実感は全く無かったです。ところが、今日の舞台を終えて出演者全員が揃ってテーマソングを歌い始めたとなん、どーっと故郷な

んだという気持ちが押し寄せてきて、仲間とここに立てた素晴らしさに圧倒されました。

野田: 伊賀の皆さんは、すごく温かいですね。舞台まで熱気が伝わってきましたよ。

Q: 今後の目標や音楽座の企画は?

野田: 私、二十歳になったところなので、感謝の気持ちを忘れずに、歌・踊り・芝居に熱中して力を付けたいと思います。

西岡: 音楽座のメンバーは平均年齢25歳くらいと若いので、次作『アイラブ・坊ちゃん』もそのパワーで盛り上げて、皆さんに見ていただきたい。また、『リトルプリンス』も、舞台毎に成長し続けたいと思っています。

——西岡由布子さんが、“仲間”という言葉は何度か力を込めて話されておられましたが、みんなで作り上げた素晴らしい舞台。目がウルウルしてしまう場面が何度もあって、私達の心を大きく揺さぶりました。その気持ちが舞台への声援となり、大きな拍手が止みませんでした。一回ではもったいない——『リトルプリンス』をもう一度! (広報事業委員 廣澤良美・辻村勝則)



「公演目指して、がんばってま〜す!」

青山ホールこども劇団「うてかえりこんぼ」の第2回定期公演が、3月11日(日)(14時開演)青山ホールで開催される。

「うてかえりこんぼ」は、平成17年度に青山ホールの自主事業として立ち上げた。旗あげ公演、第1回公演と、以後年に一度続けている。

今回は第2回目。サン=テグジュペリの“星の王子さま”をモチーフに、子供達の夢と、あこがれと、冒険を描いた、「小さな星の物語〜王子様の夢には白い花の咲く夜、音楽を奏でる箱があった〜」上演する。

そのけいこ風景を見学に行ってきた。

まず、現在の劇団代表格で、脚本・演出の城哲一さんに、お話を伺った。



Q: うてかえりこんぼって、何でつけたの?

A: 旧青山町周辺の方言で、がやがやと賑やかで騒がしく、忙しい。まあ、てんやわんやという意味ですよ。子供達がわっと集まってきて、元気に発刺と動き廻り、夢中でエネルギーを発散してくれる……と

いう願いもこめています。

Q: 今、劇団員は何人ですか?

A: 男2、女6の8名。全員小学生です。旗あげの時は15人余いたんですけどね。今どきの子供なんですね。ちょっと叱ったり注意したりすると、もう来なくなってしまうんですよ。芝居の面白さ、演ずることの楽しさ。それを知る前にやめちゃうんです。

Q: 今度の芝居、誰に観て欲しいですか?

A: 子供はむろんですが、僕は、大人、特に親たちに観てほしいんですよ。子供が無心になってやっている。それを観て、自分はどうなのか、何もかも忘れて夢中になる心が、まだ残っているか……我が心にふりかえる『きっかけ』にしてくれたらと考えています。



小さな星の物語は、ほのぼのとした夢のある芝居である。ひととき、童心にかえって、夢の世界を漂ってみては如何?

けいこは、まだ本読みの段階だった。子供たちは広いホールの最後尾に座って、声を張り上げている。ワイヤレスなしで全館に聴こえる発音をするためだ。みんな元気だ。経費削減で暖房もないホールで頑張っている。

「楽しい? がんばってね。」

「うん。楽しい。がんばるよ。」

問うと、きらきら瞳でこたえてくれた。

この頑張りも、公演の日まで続く。本読みから、立ちげいこ。そのうち衣装が出来、音楽、音響、照明と加わり、本格的芝居になってゆく。その過程をかみしめて、子供達は演ずる心地良さ、喜びを知り、本番当日を迎えるのだ。

3月11日(日)、星の王子様が持っていた箱が開く。中に入っていたのは何? 演者の子供達のキラキラした目を見に、そして箱の中味を確認するために、ぶんと愛読のみなさまも、ときめきの気持ちで、青山ホールへ行ってみたいはどうでしょう。きっと、失った何かを取り戻しますよ……。 (広報事業委員 北泉優子)



上野啓筆 へとさるふ

「風景と死生観」

吉村 芳之



以前モンゴルの平原でゲルに泊まったことがある。NHKの大河ドラマ『北条時宗』を製作するに際し、時宗の好敵手とも言えるフビライの思いの何たるかを知るために彼の地を訪れた時のことである。どこまでも緩やかな丘が続き、その勾配と言い高さと言ひ距離と言ひ見る者に「あの丘の向こうには何があるのだろう、あそこに立てばきっと違う風景が広がるに違いない」と思わせ胸をざわつかせるような勾配であり高さであり距離であった。「そうか、だから彼らは丘を越え丘を越えてついに地中海に至ったのだ」と変に納得したものである。

さて、何事も経験だということで移動住居のゲルに泊まった。夜は丸く開いた天窓から星空が見え、朝出入り口の扉を開けると緩やかな丘が続く草原が見えた。そして急に「ああ、ここに住む人たちと我々とはきっと死生観が違うな」という思いにとらわれた。眠る時目覚める時に見る風景が死生観を作るなどということはそれまで考えもしなかった。なぜあの時あんな風な思い

にとらわれたのか今は少し分かる気がする。眠る時目覚める時はすなわち死ぬ時再び蘇る時であり、いわば生命の境目に見る風景ということになる。

私が言いたいのはこういうことだ。つまり伊賀上野の風景が私の死生観を作っていることに最近何かにつけて思い至るのである。それは小さい子供の頃の目線の高さの時もあり、現実には見たことのない上空を飛ぶ鳥の目線の時もある。死生観とは死に対する敬意、生に対する畏れの感覚のごとであり、ドラマ作りという現在の私の仕事の芯となるものである。私は私の死生観を育ててくれた伊賀上野の風景に、今感謝している。と同時にこれから先そこで生まれ育つ者たちにどのような死生観を育む風景であり続けるのか、そのことに思いを馳せる今日この頃である。

■1946年伊賀市上野三之西町生まれ。NHKエンタープライズドラマ部エグゼクティブディレクター。大河ドラマ視聴率No.1の「独眼竜政宗」の他「琉球の風」「炎立つ」「北条時宗」など数々の作品を手がける。本物のドラマをつくれる数少ない演出家。最近では人気時代劇高橋秀樹主演の「慶次郎縁側日記」が好評。

夢ing

「日本のユニフォーム」

県立上野高等学校2年 柘植 慎司

38年ぶりに三重県の硬式野球選抜チームが組織され、昨年12月に台湾遠征が行われました。4試合が行われ戦績は三重県選抜チームの3勝1分け。18名の選手のうち伊賀市の高校からは上野高校の柘植慎司さんが出場しました。

Q 台湾遠征お疲れ様でした。現地ではいかがでしたか？

A 3試合で3番ショートで先発し、4試合で12打数4安打、3戦目ではホームランを打ちました。三重県選抜なのですが台湾では日本のユニフォームを着て試合をしました。日本のユニフォームに袖を通してみてあらためて、野球をしているとき以外でも責任を持って行動しなければいけないんだと思いました。

Q 現在のクラブ活動はどうですか。心がけていることなどあれば教えてください。

A 普段は限られた時間しか野球ができないので、なるべく密度の濃い練習が出来るようにしています。でも、けってオーバーワークにはならないよう気をつけています。今までに3回大きなけがをしたことがあるのですが、自分のけがでみんなに迷惑はかけたくありません。あくまで野球はチー

ムプレイですから。

Q 将来の夢を聞かせてください。

A 近い将来の夢はやはり甲子園出場です。いずれは大学でも野球をやりたいし、子供の頃からプロ野球選手になる夢は持ち続けています。

Q ふるさと伊賀の未来にかかわりたいと思うこと等ありますか？

A 高校進学の時、県外の有力校からの誘いもあったのですが、上高が県大会でベスト8に入る実力があることと、伊賀から甲子園への思いがあり上高に決めました。先輩には文学や音楽、演劇、映画などで著名な方が多いですが、スポーツ、特に野球の世界からも伊賀から全国に発信できれば嬉しいです。そうなることを目標に頑張っています。



(広報事業委員 菊野善久)

伊賀のええもん見つけた

横光利一は、明治31年3月17日福島県会津若松市にて出生、父は梅次郎が大分県宇佐市出身、母のごぎくは伊賀市柘植の生まれ。土木技師であった父・梅次郎が関西線加太トンネル工事のため柘植に来た時、ごぎくの実家の中田家に下宿した。それがきっかけになり、二人は結婚した。

父が工事現場を転々とする仕事の都合から、横光利一は、数多くの小学校を転校している。13歳の時には、三重県立第三中学校（現上野高校）に入学した。伊賀上野で下宿生活を始めた頃、近くに住んでいた美しい少女宮田おかつとの出会いが淡い初恋となった。それから20年後、35歳になった横光利一は自らの初恋を『雪解』という小説に仕上げた。



小説『洋燈』(ランプ)をモチーフにしたこの記念碑は、平成11年(1999)3月17日生涯百年を記念して母のふるさと野村の地に造られた「横光公園」の中にある

横光利一は早稲田大学在学中、菊池寛の知遇を得て、小説家として本格的に文壇への道を歩むことになる。新しい感覚と新しい文体で『日輪』、『蠅』、『機械』、『寝園』、『上海』、『旅愁』など数多くの小説を書いた。大正、昭和にかけて改革の旗手として活躍し、川端康成ら

と共に日本文学界に新感覚派として偉大な足跡を残した。

横光利一の『洋燈』 “ランプ”のモニュメント

と共に日本文学界に新感覚派として偉大な足跡を残した。

絶筆となった作品は短編『洋燈』である。そこには「初めて私がランプを見たのは、六つごそくの時、雪の降る夜、紫色の縮緬のお高たか祖頭巾を冠った母につれられて、東京から伊賀の山中の柘植といふ田舎町へ帰ったときであった」、さらに「私がランプの下の生活をしたのは、このときから三年の間である。私はこの間に、まだ見たこともない大きな石臼の廻るあひだから、豆が黄色な粉になって噴きこぼれて来るのや、透明な蟲が、眞白な瓢形の繭をいっぱい藁の枝に産みひらびつることや、夜になると牛に穿かず草履をせつせと人人が編むことを知った」と、母の実家に置かれていたランプを通して少年時代を懐かしく書いている。



小説『洋燈』に書かれてあるランプと同形のもの(柘植歴史民俗資料館)

「文豪」と言われ、「文学の神様」と称賛された横光利一の心の底には、幼い頃転々とした何れの土地よりも、青春の日々を過ごした伊賀上野の町と母の故郷柘植への深い思いが絶えず流れていた。

横光利一は、『洋燈』を執筆中に倒れ、昭和22年12月30日、50歳という若さで不帰の人になった。

(広報事業委員 西岡時彦)

文化あれこれ春夏秋冬

特集 伊賀の食文化編「甘酒」編

甘酒は、酒粕から作ると思っている方も多いと思いますが、本来は、糴(こうじ)から作るものなのです。そしてもうひとつ、冬の飲み物と思いませんか。確かに、寒い冬に熱い甘酒を飲むと体の芯から温まりますよね。甘酒が、庶民に広まったといわれる江戸時代には夏ばて防止、

— こうじ —

こうじは、蒸した穀類にこうじカビを付着させ繁殖させたもので、米こうじ、麦こうじ、大豆こうじなどがあります。漢字では一般的に「麴」と書きますが米を原料にしたものは、「糴」とも書くようです。

栄養補給のため、氷で冷やして飲む夏の飲み物だったのです。

甘酒は、ヨーグルトよりも整腸作用が優れています。体調を整える、疲労回復、栄養補給には何とんでも甘酒をお勧めします。

甘酒はまさに、日本人の智慧なのです。甘酒は、すっぱくてくさいなんて思っていないですか。本来の甘酒は、素直なやわらかい甘さで自然の味なのです。伊賀でも昔は、祭りなどで甘酒がふるまわれていたそうです。

一度ご家庭で糴から甘酒を作ってみませんか。



— 作り方 — (炊飯器や発酵器と温度計を用意)

仕込み

- ①糴(500g)と炊き立てご飯(70~80度)4合を合わせ、よく混ぜる。(糴とご飯の割合は、糴によって変わります。)
- ②手早く作業を終え、蓋をして4時間経過させる。(経過時間は50~55度を保つ。)温度の上げすぎに注意。(炊飯器の保温は70度位になりますから、電源を切っておいて下さい。)

手入れ

- ③状態が軟らかくなるまでしゃもじ等でよくかき混ぜる。作業が終われば蓋をして1時間経過させる。(経過時間は50~55度を保つ。)
- ④以後1時間おきに上記と同様の手入れ作業をし、温度をしっかり管理すること。(重要なのは温度管理です。上がり過ぎないように温度計で確認すれば安全です。)
- ⑤仕込みから8~10時間で出来ます。

【取材協力】町野恭司さん
(広報事業委員 奥 真也)

こだわり人生乾杯

「小さな楽しみ」

和田 誠 巳

城下町のまちづくりで市民サイドで10数年かかわって町家や町並みにもそれなりの思い入れがあり、伊賀上野が大好きな紀州人ですが、今回は自分だけのささやかな楽しみについて書くことにする。20年前からロウヤ(老鷹)柿(姫柿とも言う)を育てているが、退職を機に一から育てることにこだわり、実生することにした。その年の秋、品種名の付いた木から300粒の種を集めて冷蔵庫に保管、翌年4月1日に種を蒔き、6月に発芽する。ロウヤ柿は中国原産の小さな柿で、色・形共に変化に富んだ実を付けるのが魅力である。3年目の6月に290本の苗木を1本ずつ鉢に植え替えるが置き場の確保に一苦労。4年目になり、初めて31本が開花し、その内12本に実がなる。ほとんどが赤実である。雌雄異株なので雄木には

実が付かないが受粉に必要なので残す。

年々、実成り株が増え、どのように成長するのが楽しみ。自分を頼りにじっと待っている小さな木達は少しサボると態度で抗議し、乱れたり時には枯れる。

この中からとんでもない名品が生まれるかもと期待する。20年計画で育て、このかわいらしい姫柿達に成人式を迎えてやりたい。それまでは心身共にリタイヤしないで一緒に頑張ろうと思う。紀州魂と伊賀根性?で。



「この間」

北泉 優子



多情
多感

No.11

娘時代、NHKに勤務していた頃は、東京渋谷の幡ヶ谷に住んでいた。作家、脚本家として独立してからは、渋谷代々木の参宮橋に移り住んだ。

だから、あの辺は、当時の散歩コースであり、すっかり変貌した街になっても、まだ多少の土地勘はある。幡ヶ谷と渋谷富ヶ谷は、車で5分余の近さだ。その二つの地で、二つの殺人事件が、昨年暮から新年にかけて発生した。

一つは、兄が実妹を殺め、遺体を切断し、クローゼットに隠していた事件。もう一つは妻が夫を殺し、これもまたバラバラに切断、あちこちに捨てたことだ。幡ヶ谷の歯科医院はたしかあの頃もあった。よくは憶えていないが、下町っぽい商店街のはずれだった気がする。富ヶ谷はバスで渋谷に買物にゆく通り道だった。代々木公園があり、NHKがあり、高級マンションが林立する住宅地でもある。

こんな都心のど真中の閑静な場所で、手口の似た殺人事件がどうして二つも起こってしまったのだろう。残忍さだけではなく、先住んでいた地の近くということもあって、かなり関心を持って報道を見てしまった。

菌医者というレールを敷き三浪してまだ諦め切れずにいた受験生の兄。自由奔放に生きて女優を目指していた一つ違いの妹。妹に、夢がないとなじられた兄の心に、どんな闇がめばえていたのだろうか。

他方、社長令嬢で育ち、プライドの高かった妻は、仕事一筋で泥酔して帰宅する夫を、どんな思いでみつめていたのか。人間は、誰でも、そしてそれがほんの微弱でも、心に闇を持っていると、わたしは思う。しかし、その闇をふつうは理性というオブラートに包み、あからさまにすることはない。

けれども、二つの凶悪事件を眺めると、本来なら米粒ほどのままで深く沈黙し、やがて死滅するはずの闇が、日を重ねるにつれオブラートを突き破り、成長し、大爆発してしまったのだと思われる。

二人の男と女。心に宿した闇とは、いったい何だったのか……。おそらく、当事者以外には分からないはずだ。

昨今、幼児虐待、いじめ、肉親間殺害と、ほんとおそろしい事件ばかりが目立って増えている。人間喪失でもいおうか。人が人らしさを失念して、本能のままに動いているみたいだ。これも、心の闇が露呈してしまつたせいかもしれない。

よく、ムカツクとかキレるとか若い人が云う。私世代でも、「頭へきて、キレちゃったわよ」などと、会話にはさむ。それも半分ジョークで。

わたしは、のろまで鈍感である。そのかわり、心の闇のオブラートも厚く、米粒のままで終る気配濃厚だ。それは、わたしが、ごく当たり前の理性と常識を持ったふつうの人間だからだと自負している。いかに凶悪事件が多発しても、世の中の大部分の人は、心の闇を胸の底に包み込み、成長させないでいる。ほとんどの人は、ふつうの人間なのだ。

どうか、もうこれ以上、心の闇を爆発させて、ふつうの人を嘆かせることだけはほしくないでほしい。そう願わずにはいられない。

昨年は、伊賀地方では殺人事件がゼロだったそうである。それを聞いて内心ほっとした。今年もぜひそうでありませうように。

(作家・市内在住)

第70回記念

タッチ・ザ・スタインウェイ
～草の芽のコンサート～

参加者募集

世界最高のピアノ、スタインウェイを
気軽に弾いてみませんか！

■開催日時 3月17日(土) 10:00～12:00
18日(日) 10:00～19:00

■場 所 青山ホール
■演奏時間 1枠30分以内
■参加費 250円



・2台のピアノの場合は1枠1時間で1人500円
(ただし、8手の場合は1人250円)
・1枠に3名以上(ただし2台の場合を除く)の使用はできません。

■募集人数 17日4枠(締切りました) 18日18枠
※先着順とし、定員になり次第締切

■申込方法 申込用紙に必要事項(住所、氏名、電話番号、希望時間)を記入し、郵送又はFAXでお申込み下さい。
(e-mailの場合は、上記事項を記入してください。)

■申込み・お問合せ
〒518-0226 伊賀市阿保1411-1
青山ホール「タッチ・ザ・スタインウェイ」係
TEL 0595-52-1109 FAX 0595-52-3698

入交家住宅 特別企画

参加者募集

武家屋敷 で遊ぼう！

おはなしいっぱい！
聞こう！遊ぼう！楽しもう！



武家屋敷「入交家住宅」で、「おはなしいっぱい！」と題し、エプロンシアター、紙芝居、絵本の読み聞かせなどを楽しんでいただきます。江戸時代の建物の雰囲気を感じながら、お子様からお年寄りの方まで、みなさんと交流を深め楽しんでいただけたらと思います。ちょっとした遊びやおやつ時間も設けておりますのでお楽しみに！

■日 時 3月31日(土)
午後2時～午後4時頃まで
■会 場 入交家住宅(伊賀市上野相生町2828)
■内 容 ①おはなしを楽しもう！
(エプロンシアター・紙芝居など)



②遊ぼう！(かるたや簡単な遊びを紹介)
③おやつ時間(おだんご)
④読み聞かせの会「えほんの森」

■募集人数 30人(定員になり次第、受付終了)
■対象 制限なし(未就学児は保護者同伴)
■参加費 入館料のみ必要(大人200円・高大学生150円・小中学生100円・未就学児無料)
■申込方法 3月5日(月)午前9時より電話で受付
電話0595-22-0511
■協力 おはなしボランティアグループ「よもよも」
伊賀市上野図書館

参加者募集

大好評につき今年もやります！
上野運動公園野球場 一般開放

「集まれ！グラウンドゴルフ仲間！」

大好評につき今回も開催決定！！
上野運動公園野球場を平日限定
一般開放！



緑広がる芝生の上でグラウンドゴルフを
楽しみませんか？

皆さん一緒に参加しリフレッシュしましょう

■日 時 4月～11月 毎月2回(11月のみ1回)
木曜日 計15回
午前9時30分～午前11時30分
4月12日・26日 5月10日・24日
6月14日・28日 7月12日・26日
8月9日・23日 9月6日・20日
10月4日・25日 11月8日

※雨天の場合は中止

■会 場 上野運動公園 野球場
■料 金 参加費 1人 100円
■協 力 伊賀市グラウンドゴルフ協会
■お問合せ (財)伊賀市文化都市協会
電話 0595-22-0511

★大会企画★11月15日(木)上野運動公園競技場にて
第2回「集まれ！グラウンドゴルフ仲間！BU
NTO杯！」を開催いたします！
詳細が決まりましたらお知らせします。

上野歴史民俗資料館特別企画
「伊賀子ちゃん心博物館展」



～第3期 男のこだわり(男性館長編)～

「まちかど博物館」は、これまでの「博物館」のイメージにと
られることなく、コレクションや伝統の技、手仕事などを仕
事場の一角や個人のお宅、店先などで、館長さんと語りと共に
見ることができる新しいかたちの博物館です。

第1期「遊ぶ」、第2期「女性館長編」に続いて男性館長さ
んの博物館の出張展示です。一同に介するこのチャンスにぜ
ひお越し下さい。

■開催期間 第3期展示 ～男性館長編～
2月11日(日)～3月24日(土)休館日なし

■場 所 上野歴史民俗資料館(伊賀市上野丸之内116-2)

■開館時間 午前9:00～午後4:30

■参加館
・流(ながれ)工房「創作盆景」
・古時計再生工房 澤田時計店
・マイ・マイク博物館
・写真ギャラリー ソエノ写真
・柿盃洗堂
・街角ブリキのおもちゃ博物館 TINs Café

■入館料金 大人200円 高・大学生150円 小・中学生100円

■共 催 伊賀まちかど博物館推進委員会

■お問合せ (財)伊賀市文化都市協会
(TEL 0595-22-0511)

男性館長さん大集合 3月24日(土)楽しいイベントがいっぱい！

特別企画

岩倉峡公園キャンプ場

参加者募集

ダッチオープンdeエビピラフ & 手作りバームクーヘンに挑戦!!

アウトドアで大活躍の調理器具「ダッチオープン」を使って、海老ピラフを作りましょう。そしてデザートは、竹をグルグル回しながら、時間をかけて一層一層焼き色をつけて、まるで樹の年輪のようなバームクーヘンを焼いてみましょう。さて、うまく出来上がるかな??

- 期 日 3月24日(土)
- 日 程 受付 9:30~10:00
スタート 10:00~
終了 14:00頃
- 場 所 岩倉峡公園(伊賀市西高倉6358-2)
TEL 0595-24-0146
- 対 象 小学生以上(但し、3年生以下は保護者同伴)
- 定 員 先着60名
- 参加費 一般 800円
小・中・高生 500円
(入園料・傷害保険料含む)
- 申込方法 2月26日(月)午前9時より電話で受付ます。
TEL 0595-22-0511
※定員になり次第締切ります。

ロビーコンサートin伊賀市文化会館
春色薫る

ふんわりポップス
を楽しむ Tea Time
from ひまわりラヂオ

春の光をちょっぴり浴びて…ふんわりやさしいポップスを聴きながら午後のTea Timeを楽しんでみませんか…。三重県津市出身のヴォーカル「さやか」の美しい歌声、ひまわりラヂオのふんわり心地良いポップスサウンドに包まれて、春色薫る午後のひとときに酔いしれてください!!



- 日 時 3月21日(祝)開場13:30 開演14:00
- 会 場 伊賀市文化会館 ホワイエ
- 料 金 一般 500円
SaMaZaMa Club会員 450円
コーヒー・紅茶のサービス付
- ※人数に制限がありますので、お早めにお買い求め下さい。
- チケット取扱所 伊賀市文化会館・ふるさと会館いが
青山ホール・あやま文化センター



岩倉峡公園キャンプ場“3月15日”オープン!!

岩倉峡公園キャンプ場が3月15日よりオープンします。開設時間、受付等は次のとおりとなっていますので、春休み期間中やゴールデンウィークのご利用を計画されている方はお早めに受付を済ませてください。

◇開設期間等

1. 開設期間 3月15日~12月15日
 2. 開設時間
 - (1) 3月15日~4月19日と、12月1日~12月15日の間は、9:00~16:00
 - (2) 4月20日から11月30日までの間は終日となっています。
 - 宿泊キャンプの1日の利用時間
利用する日の13:00から翌日の10:00まで
 - デイキャンプの1日の利用時間
10:00から17:00まで
- ※12月16日から3月14日までの間は、キャンプ場は休園します。



◇受付期間等

1. 受付期間
キャンプ場を使用しようとする日の60日前から5日前までの間
2. 受付時間
休日、土・日曜日を除く日の9:00~17:00までの間、キャンプ場管理棟において受付いたします。ただし、キャンプ場開設期間中は、毎日9:00~16:00の間に受付いたします。
岩倉峡公園キャンプ場 TEL 24-0146

One Coin Concert
(ワンコインコンサート)

当協会がお届けする「ワンコインコンサート」は、皆様に出来るだけ安価で音楽などを鑑賞いただくために、出演者のご協力を得て開催する事業です。文化ホールやロビー、文化施設や屋外と場所もさまざま。内容も洋楽…邦楽…ジャズ…などなど、ジャンルもいろいろです。

年間いくつかの企画を考えて、決まり次第お知らせしますので、ご家族やお友達と一緒にお気軽にご参加下さい。

未知のジャンルから新しい発見があるかも知れませんよ!! まずは生の演奏にふれ、“音楽”を“芸術”をはだで感じて下さい。



ホール・ドーム **これから** 情報

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

| 日時 | 催し物 | 入場料 | 主催・問い合わせ |
|------------------------------|---|-----------------------|--|
| 2/18(日) 15:00~ | ピアノ発表会 | 無料 | 肥前奈穂美 ☎52-3961 |
| 2/25(日) 14:00~ | 第11回ピアノデュオ・コンサート ~佐藤裕子と共に~ | 1,000円 | 伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール) |
| 3/3(土) 13:30~ | 第13回 みんな集まれ青山の子ども | 無料 | 伊賀市青少年委員児童委員協議会 ☎52-3228 (青山支所健康福祉課) |
| 3/11(日) 14:00~ | 青山ホールこども劇団「うてかりこんぼ」 第2回定期公演 『小さな星の物語』 | 一般 700円 高校生以下500円 | 伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール) |
| 3/17(土) 3/18(日) 10:00~ | 第70回タッチ・ザ・スタインウェイ ~草の芽のコンサート~ | 参加費 250円 | 伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール) |
| 3/24(土) 10:00~ | 第19回管楽器個人重奏コンテスト 三重県大会 中学校個人の部 | 中学生以上500円 小学生 250円 | 三重県吹奏楽連盟 他 ☎65-1721 (田森) |
| 3/25(日) 10:00~ | 第19回管楽器個人重奏コンテスト 三重県大会 高等学校個人の部 | | |
| 3/31(土) 13:30~ | 青山太鼓保存会 及び まなび講座発表会 | 無料 | 青山太鼓保存会 ☎090-1419-7728 (中西) |
| 4/1(日) 10:00~ | 伊賀路会カラオケ発表会 | 無料 | 伊賀路会 ☎52-0725 (城本) |
| 4/8(日) 13:30~ | 第9回ピアノコンサート | 無料 | 真島信子 ☎52-2352 |

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

| 日時 | 催し物 | 入場料 | 主催・問い合わせ |
|-------------------|---|---|-------------------------------|
| 2/17(土) 10:00~ | 司法書士無料法律相談会 (場所:多目的室) | 無料 | 三重県司法書士 上野支部 ☎059-224-5171 |
| 2/18(日) 13:30~ | 広域人権フォーラムいが | 無料 | 伊賀市役所人権政策課 (事務局) ☎22-9631 |
| 2/25(日) 14:00~ | 上方落語の会 「桂ざこば・南光・小米朝 三人会」 | 一般 2,500円 高校生以下 1,500円 (当日500円増し) | 伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 |
| 3/18(日) 18:00~ | Aqua Timez the "BIG BaNG" tour '07 | 4,000円 (全席指定席) | 伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 |
| 3/21(祝) 14:00~ | ふわりポップスを楽しむ Tea Time from ひまわりラチオ (場所:ハワイエ) | 500円 | 伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 |

ふるさと会館いが

伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

| 日時 | 催し物 | 場所 | 入場料 | 主催・問い合わせ |
|-------------------|--------------------|------|----------------------|-------------------------------------|
| 3/3(土) 13:30~ | 第7回音楽鑑賞会 | 大ホール | 一般1000円 高校生以下500円 | 伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが) |
| 3/17(土) 17:00~ | 服部浩子・北川大介 歌謡ショー | 大ホール | 前売3000円 当日4000円 | 東合プロモーション ☎0790-75-2775 |

あやま文化センター

伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

| 日時 | 催し物 | 入場料 | 主催・問い合わせ |
|-------------------|---------------------------------|------|-------------------------------|
| 3/3(土) 13:30~ | 防災講演会 | 無料 | 河合地域住民自治協議会 ☎43-0646 (山岡) |
| 3/4(日) 13:00~ | 地域をつなぐ交流シンポジウム 「食育って何だろう?」 | 無料 | 伊賀の里モクモクづくりファーム ☎43-1122 |
| 3/25(日) 14:00~ | 伊賀コミュニティオーケストラ さんさんコンサート2007 | 500円 | 伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール) |
| 4/1(日) 9:30~ | リピート発表会 | 無料 | レスナーグループ・リピート ☎24-4126 |
| 4/8(日) 9:30~ | チャリティーカラオケコンサート | 無料 | 雉の会 (川合) ☎43-0021 |

ゆめドームうえの

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

| 日時 | 催し物 | 場所 | 主催・問い合わせ |
|-----------------------------|---------------------------|--------|---|
| 2/17(土) 8:00~ | 第3回新居招待フットサル大会 | 第1, 第2 | 新居サッカースポーツ少年団 ☎24-4639 (中川) |
| 2/25(日) 8:30~ | 三重県B&G青少年交流剣道大会 | 第1, 第2 | 三重県地域海洋センター連絡協議会 ☎22-9680 (伊賀市教育委員会) |
| 3/4(日) 9:00~ | 第3回伊賀市ソフトバレーボール大会 | 第1, 第2 | 伊賀市教育委員会 ☎22-9680 |
| 3/11(日) 9:00~ | わくわくこどもフェスタ ライオンズクラブデー | 第1 | 伊賀上野ライオンズクラブ ☎22-9801 |
| 3/17(土) 3/18(日) 9:00~ | 伊賀オープン卓球大会 | 第1 | 伊賀市卓球大会 ☎23-2767 (森永) |
| 3/21(祝) 9:00~ | 伊賀市小学生 バレーボール6送交流会 | 第1, 第2 | 伊賀市小学生バレーボール連絡協議会 ☎21-5748 (生中) |
| 4/1(日) 9:00~ | 第2回伊賀総合ソフトバレーボール 春季大会 | 第1 | 伊賀市ソフトバレーボール連盟 ☎23-5865 (竹腰) |
| 4/8(日) 9:00~ | 第6回誠輝館青少年育成空手道大会 | 第2 | 誠輝館 ☎24-5703 (北村) |

3月4日(日)に開催される「伊賀学検定」のテキスト
「伊賀学検定300問ドリル」を、伊賀市文化会館で
販売しています。

定価 1,000円



—お詫び—

ぶんと通信49号「伊賀のええもんみつけた」の文中、「長曾我部」を
「長宗我部」に訂正させていただきます。

●編集部だより●

音楽座ミュージカル「リトルプリンス」を観た。星のようにキラキラと光り、心が洗われるいくつもの言葉に胸を打たれた。「地球という星に行きなさい。たくさんのお会いがある星へ…」伊賀にもたくさん素晴らしい出会いがあることを思い出し、出会いがある星(伊賀)をもっと知ってもらいたいと思った。

「出会いの里・伊賀」…ちょっと、いいかも?

(広報事業委員 辻村勝則)

伊賀びと川柳

伊賀の猫忍びの術でねずみ取り
組紐で腹をくくって披露宴

井ノ上 撰男

かた焼きのかたさに挑み若返る

福沢 義男

伊賀の記事載ってますよとお江戸から
★晴れるまでじっと我慢の伊賀の霧

高橋 せつ子

金婚の思い出綴る伊賀ぐらし

賀柳

伊賀が好き語り部顔を輝かせ
本物の忍者は着ない忍者服

梅田 とほる

★印の方に好評発売中のちせい集「辛口あま酒」をプレゼントします。次号の締切は3月15日です。伊賀にちなんだ川柳氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記までお願いします。

アクア タイムズ

Aqua Timez

the "BIG BaNG" tour '07

3月18日(日)開催の「Aqua Timez」の公演チケットは、好評につき一般発売初日で完売となりました。ありがとうございました。

お問い合わせ

(財)伊賀市文化都市協会

TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512 Eメール samazama@bunto.com

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2

・伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com>

・青山ホール <http://ict.ne.jp/~bunto/> ・ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/~furuken/>

ぶんと通信